

2014年

開催要綱

# 北海道社会保障学校

in 室蘭

国の責任を放棄する『自己責任論』を克服し 憲法を活かした社会を



2014年10月19日(日)

9時30分～15時30分(開場9時)

ホテル セピアス  
参加費 1,500円

全体会 9:30～12:10

記念講演

「チャイルドプア/社会を蝕む 子どもの貧困」

(仮題)

新井 直之 さん (NHKディレクター)

特別講演

「環境問題を考える」橋本 忠雄 さん (室蘭工業大学名誉教授)



分科会 13:10～15:30

「安心して住み続けられるまちづくりは？」

「国民皆保険制度をいかに守るか」

「相談員養成講座」

# 記念講演

## 「チャイルドプア/ 社会を蝕む 子どもの貧困」(仮題)

NHKディレクター

新井 直之 さん

### 講師紹介

NHK報道番組ディレクター（32歳）。

2012、13年に地方発ドキュメンタリーとして、「チャイルドプア～急増苦しむ子どもたち」「闘う現場」を制作し、翌14年に「チャイルドプア～社会を蝕む社会の貧困」を出版して、反響を呼びました。「車上生活を強いられる中学生」や母親の自殺でひきこもりになった少年、10代でホームレスとなった青年、そして学校現場での葛藤などをとりあげ、子どもたちを取りまく貧困の実態をつぶさに取材しました。

講演では、子どもの貧困の実態とともにその背景、そしてすでにはじまっている貧困問題打開のとりくみを具体的に紹介します。



「貧困は子どもの自尊感情にダメージを与える」。埼玉県で支援を行っているNPO代表の言葉は、問題の本質を端的に示す。希望を奪われた子どもたちは、立ち上がれない。本書は2012年十月に放送された、NHK総合の報道番組の書籍化。

30代の父親の債務逃れで、1年半の車上生活を送り、学校に通えなかった中学生男子。離婚の末、働き詰めに働いて、恋人との結婚を前に命を絶った母を慕う、通信高校生の女の子。ギャンブル依存の父親にだまされ、ホームレスに陥った25歳の青年。親の挫折が子どもをこの上もない困難に導く。

その子ども・若者たちが、無料勉強会の大学生ボランティア、たまり場主宰者、スクールソーシャルワーカーといった、まっすぐに向き合ってくれる大人に出会い、社会に居場所を見つけていく。

急激に広がる子ども・若者の貧困の深刻さを衝撃的に、しかし現状を咀嚼して、分かりやすく伝えている。個人情報に阻まれ、心を閉ざすティーンに心を砕き、対象に迫る取材姿勢が魅力的。



# 分科会

## ◆安心して住み続けられるまちづくりは？

「健康で住み続けられること」は、みんなの願いです。そのためには、所得保障、住宅保障、医療、福祉（介護）などの制度の充実が必要です。今年度は、来年度からの高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画の作成の年です。今回は、介護をめぐる現状や成立した医療介護総合法の内容を学び、どうすれば住み続けられるまちが作れるのかを学習し、経験など交流します。

### 小講演 「安心して利用できる介護保険制度をめざして」

－医療・介護総合法施行のもとで－



講師 石井秀夫さん 北海道勤労者在宅医療福祉協会専務  
社会福祉法人札幌南勤労者医療福祉協会常務理事

- 『孤立死をなくそう』と結成した地域ネットワークのとりくみ(苫小牧市沼の端地域)
- 町立病院を守るとりくみ(白老町)

## ◆国民皆保険制度をいかに守るか

全道各地で、「保険料（税）が高すぎて、払いたくても払えない」「医療費が高くて医療機関にかかれない」などの声が広がっています。国保料の滞納者には、資格証明書の発行や滞納処分（差し押さえ）などが行われ、経済的理由で受診を控え亡くなる人まで生まれています。また、医療費抑制のために、さらに窓口負担の値上げや国保の都道府県化、混合診療の拡大も検討されています。今回は、誰もが必要な医療が受けられるように、国保を中心に問題解決の方向を学び、改善の取り組みなどを交流します。



### 小講演 「国民皆保険を守るために」

講師 斉藤浩司さん 札幌社保協事務局長

## ◆相談員養成講座（生活相談・労働相談）

「生活相談」と「労働相談」についての相談員を養成する講座です。

### ・「生活相談」



講師 細川久美子さん 北海道生活と健康を守る会連合会副会長

生活相談や生活保護申請にも同行できるような内容で、生活保護などの改悪の動きについても学べます。

### ・「労働相談」



講師 木村 俊二さん 札幌地区労働組合総連合事務局長  
札幌ローカルユニオン結書記長

解雇・賃金未払いなどへの対応を中心に、失業した時に活用できる制度についても学べます。

# 会場へのアクセス

## ホテル セピアス

室蘭市入江町1-12  
☎0143-24-1010  
(室蘭合同庁舎向かい)

電車の場合  
JR室蘭本線室蘭駅より徒歩約5分。

自動車の場合  
高速室蘭インターチェンジから9km  
駐車台数50台(ホテル) 他にも有り  
※台数が限られておりますので  
公共交通機関の利用をおすすめします。



## 参加申込書

フリガナ	所属団体名(個人申込みは住所)	電 話	午前	午後 分科会			昼食
氏 名			講演	①	②	③	弁当
例) <small>サワノ</small> 澤野 <small>タカシ</small> 天	北海道社保協	011-758-2648	○		○		○

◎申し込み:北海道社保協事務局 FAX 011-758-4666 Mail shahokyo@dominiren.gr.jp

◎申し込み締め切り:10月10日 当日申込有

◎分科会名

①「安心して住み続けられるまちづくりは？」 ②「国民皆保険制度をいかに守るか」 ③「相談員養成講座」

◎昼食弁当は600円です。(受付時に代金を申し受けます)

主催 北海道社会保障学校 in 室蘭実行委員会  
北海道社会保障推進協議会

TEL 0143-43-1737  
TEL 011-758-2648